

平成30年度 SBI児童福祉司スーパーバイザー研修【前期】講義要綱

	時間	区分	科目	内容	講師
1日目 (日程A:7/30) (日程B:8/21)	12:30-13:00		イントロダクションとオリエンテーション		西澤 哲 (山梨県立大学 人間福祉学部)
	13:00-14:30	講義1	子どもの権利擁護と子ども家庭福祉の現状と課題	子どもの権利擁護および子ども家庭福祉の現状、動向、取り組むべき課題について理解を深める。	加賀美 尤祥 (山梨県立大学 人間福祉学部)
	14:45-16:15	講義2	ソーシャルワークとケースマネジメント	子ども虐待等の問題に対応するためのソーシャルワークの基礎に関する理解を深めるとともに、適切なケースマネジメントの障壁となる「落とし穴」を理解する。	西澤 哲 (山梨県立大学 人間福祉学部)
	16:30-18:00	演習1	子ども虐待対応1～リスクアセスメントと初期アセスメント～	虐待通告を受けた際の対応と初期のリスクアセスメントについて、演習形式で実践的に学ぶ。	山田 不二子 (山田内科胃腸科 クリニック)
2日目 (日程A:7/31) (日程B:8/22)	9:00-10:30	講義3	子どもの発達と虐待の影響・子どもの生活に関する諸問題	家庭における不適切な養育が子どもにどのような心理的影響を及ぼし、それが子どもの日常生活にどのような形で現れるのかを理解する。また、そうした影響が子どもの発達にも及び、いわゆる発達障害と類似した状態となる可能性があることを学ぶ。	西澤 哲 (山梨県立大学 人間福祉学部)
	10:45-12:15	演習2	子ども虐待対応2～性虐待への対応～	性的虐待事例への対応について、特に子どもや親の「トラウマ」を意識した支援という立場(trauma-informed practice)から、具体的な事例の検討等を通して理解を深める。	亀岡 智美 (兵庫県こころの ケアセンター)
	13:15-14:45	演習3	関係機関との連携・協働と在宅支援	事前課題として提出された事例を取り上げ、子ども虐待事例へのソーシャルワークのあり方、特に受理からアセスメント、在宅支援のあり方を実践的に検討する。	八木 安理子 (大阪府枚方市 子ども青少年部)
	15:00-16:30	演習4	子ども家庭支援のためのケースマネジメント1	事例の見立てや支援方針の設定のあり方、特に、受理からアセスメント、一時保護、3号措置、その後の家庭復帰や自立支援に向かう長期的なケースマネジメントの方法を演習形式で学ぶ。	河浦龍生 (福岡市子ども家庭 支援センターはぐはぐ)
	16:45-18:15	演習5	子ども家庭支援のためのケースマネジメント2		後藤慎司 (大分県こども・女性 相談支援センター)
	18:30-20:00	情報交換会	情報交換会		参加者(任意)、 講師
3日目 (日程A:8/1) (日程B:8/23)	9:00-10:30	特別講義1	パーマナンスを意識したソーシャルワーク	子どもの健康的な成長・発達にとって必要な、永続的な家族関係をベースにした育ちの場の保障、いわゆるパーマナンスを保障するためのソーシャルワークのあり方を理解する。	藤林 武史 (福岡市こども 総合相談センター)
	10:45-12:15	特別講義2	虐待を受けた子どもの支援: 治療的養育と心理療法	虐待を受けた子どもの心理的な回復を促すための治療的養育(子どもの心理的回復を促進するための生活支援)と、トラウマやアタッチメントなど、子どもの抱える心理的問題に焦点を当てた心理療法のあり方を理解する。	西澤 哲 (山梨県立大学 人間福祉学部)
	13:15-14:45	演習6	子どもの面接に関する技術	虐待を受けた子どもの心理的特徴や支援上の課題を意識した子どもとの面接のあり方を、ロールプレイ等を通して学ぶ。	西澤 哲 (山梨県立大学 人間福祉学部)
	15:00-16:30	演習7	子ども虐待対応3～特別な支援が必要な事例(SBS、MSBP、医療ネグレクト等)の理解～	乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)、代理によるミュンヒハウゼン症候群(MSBP)、医療ネグレクトなど、特異性のある虐待事例に関して、具体的な事例を参照しながら、親や家族の心理的な問題や子どもへの心理・精神的影響の理解を深める。	丸山 朋子 (大阪府立病院機構 大阪急性期・総合 医療センター小児科)
	16:45-17:45	特別演習1	前期研修のまとめと総合討議	総合討議を通して前期研修のまとめを行い、後期研修にむけたそれぞれの学習課題を明確にする。	西澤 哲 (山梨県立大学 人間福祉学部)

※時間・担当講師など一部変更となる可能性もございます。予めご了承くださいませようお願いいたします。

平成30年度 SBI児童福祉司スーパーバイザー研修【後期】講義要綱

	時間	区分	科目	内容	講師
1日目 (日程A:1/30) (日程B:2/13)	12:00-12:30		イントロダクションとオリエンテーション		西澤 哲 (山梨県立大学 人間福祉学部)
	12:30-14:00	講義1	スーパービジョンの基本	ソーシャルワークにおけるスーパービジョンに関する基本的な理論を理解し、児童相談所におけるスーパービジョンのあり方を学ぶ。	渡部 律子 (日本女子大学 人間社会学部)
	14:15-15:45	演習1	スーパービジョンの基本1	講義1にもとづき、ロールプレイ等を通して、部下へのスーパーバイズの方法を実践的に学ぶ。	
	16:00-17:30	演習2	事例検討 スーパービジョンの基本2	OJT課題として提出された事例をもとに、グループに分かれて事例検討を行い、スーパーバイズのあり方を実践的に学ぶ。	
	17:45-19:15	演習3	事例検討 スーパービジョンの基本3		
2日目 (日程A:1/31) (日程B:2/14)	9:00-10:30	特別講義1	虐待傾向のある親・家族の心理社会的特徴	虐待傾向のある親や家族にはどのような心理的特徴や社会関係等の特徴があるのかを、これまでの調査研究や臨床研究をもとに理解を深める。	西澤 哲 (山梨県立大学 人間福祉学部)
	10:45-12:15	演習4	社会的養護における自立支援とファミリーソーシャルワーク1	社会的養護における子どもへの支援および親・家族に対するソーシャルワークのあり方について、事例の検討等を通して理解を深める。	塩田 規子 (救世軍世光寮)
	13:15-14:45	演習5	社会的養護における自立支援とファミリーソーシャルワーク2		
	15:00-16:30	演習6	非行対応	非行傾向のある子どものアセスメントと支援のあり方に関して、事例の検討等を通して理解を深める。	相澤 仁 (大分大学 福祉健康科学部)
	16:45-18:15	事例検討会	模擬事例検討会 ～支援計画の策定を中心に～	児童相談所での心理療法、非行臨床、レジデンシャル・ソーシャルワーク、小児精神科医療、児童相談所における法律実務などに関して豊かな経験を有する専門家が討論者となり、模擬事例に関して事例検討会を行う。その後、フロアを交えたディスカッションを通して、児童相談所におけるソーシャルワークのあり方について、理解を深める。	討論者 (コーディネーター: 西澤 哲)
	18:30-20:00	情報交換会	情報交換会		参加者(任意)、 講師
	3日目 (日程A:2/1) (日程B:2/15)	9:00-10:30	演習7	子ども虐待対応4 ～虐待傾向を示す親・家族への支援～	特別講義1の内容に基づき、事例の検討等を通して、虐待なネグレクトを行う親および家族の支援のあり方に関する理解を深める。
10:45-12:15		特別演習1	家族面接に関する技術	虐待にいたった親や家族の面接技術を、ロールプレイ等を通して実践的に学ぶ。	衣斐 哲臣 (和歌山大学 教職大学院)
13:15-14:45		演習8	行政権限の行使と司法手続き	事例の検討を通して、法律の解釈・運用のあり方や、法的手段の活用について学ぶ。	久保 健二 (福岡こども 総合相談センター)
15:00-16:30		特別演習2	子ども虐待対応5 ～虐待死亡事例検証～	虐待やネグレクトによって子どもが死亡した事例の分析から得られた知見をもとに、虐待が悪化するプロセスや、虐待死を防ぐことができなかったソーシャルワークの問題点を、グループ討論を通して理解を深める。	西澤 哲 (山梨県立大学 人間福祉学部)
16:45-17:45		特別演習3	研修のまとめと総合討議	総合討議によって、前期後期を通じた研修のまとめを行い、児童相談所のソーシャルワークの専門性の向上に向けた検討を行う。	西澤 哲 (山梨県立大学 人間福祉学部)

※時間・担当講師など一部変更となる可能性もございます。予めご了承くださいませようお願いいたします。